

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
【基本施策】			3-1-2	水環境の保全								
【施策展開】			①清らかで安全な水環境の保全									
5	★	水質関係事業所等監視指導事業 (環境部 環境保全課)	100件 立入検査 及び指導 等件数						県	水質汚濁防止法に係る特定事業場への立入検査及び特定施設届出の審査を行った。	やや遅れ	順調
			事業者に対する改善指導及び事業場等への立入検査の実施									
6	★	水質保全対策事業 (環境部 環境保全課)	189地点 調査地点 数						県	河川(93地点)及び海域(75地点)の水質の測定並びに地下水水質の概況調査(8地点)及び継続調査(11地点)を実施した。	順調	順調
			公共用水域、地下水等水質の常時監視及び市町村への情報提供									
7	★	水質測定機器整備事業 (環境部 環境保全課)							県	石油貯蔵施設から発生する公害を監視するため、衛生環境研究所及び石油貯蔵施設が立地する地域の保健所(中部・南部)において、環境監視測定機器等の整備を行った。また、衛生環境研究所においては高額機器整備を行った。	順調	順調
			石油貯蔵施設が立地する地域の保健所等で必要な公害監視機器等を整備・更新する									
8	★	水質環境保全啓発推進事業 (環境部 環境保全課)	6河川 (流域14市 町村)指定 数					4河川 (流域10市 町村)	県	市町村の生活排水対策の啓発に関して、HP上に対策パンフレットを掲載したほか、市町村との会議で生活排水対策の重要性を説明した。また、公共用水域で発生した魚類のへい死事故について、原因究明のための水質調査を行った。	順調	順調
			生活排水対策重点地域指定の解除に向け、河川流域市町村による生活排水対策の汚濁負荷低減としての啓発に関する支援									
9	★	浄化槽管理対策事業 (環境部 環境整備課)	1,500人 受講者数						県	浄化槽の適正な維持管理及び合併処理浄化槽の普及啓発のため、浄化槽の日に係るパネル展示、知事挨拶文掲載新聞広告、県内5カ所の保健所において、浄化槽設置者に向けた講習会、維持管理に関する指導を行った。	概ね順調	順調
			浄化槽の適切な維持管理に関する指導・普及啓発									
			浄化槽設置者講習会の実施									
10	★	下水道事業 (土木建築部 下水道課)	72.4% 下水道整 備率					77.1%	県 市町村	那覇、宜野湾、具志川、西原の4浄化センターにおいて引き続き下水道施設の増設及び老朽化施設の改築・更新を行った。また、下水道事業実施市町村へ国からの交付金を配分するとともに、那覇市など23市町村において汚水管渠等の整備を推進し、下水道の普及に努めた。	順調	順調
			地域性を考慮した下水道整備の推進									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
11	★	農業集落排水事業 (農林水産部 農地農村整備課)	67.0% 汚水処理 人口普及 率					79.0%	県 市町村	恩納第2地区(恩納村)他13地区において、農業集落排水施設の 整備又は更新に対する補助を行った。	順調	概ね順調	
			汚水処理施設整備支援										
12	★	沖縄型畜産排水対策課題解決モデル 事業(R3復活) (農林水産部 畜産課)	92人 畜産排水 処理技術 者の育成		102人			乳用牛農家 における家 畜排せつ物 の対策方針 策定	県	酪農家の家畜ふん尿の課題について、協議会を3回開催するとと もに、家畜排せつ物処理実態調査を10農家実施。臭気対処理技術 について2事例検討を行った。また、酪農環境課題対策方針の策 定、農家用パンフレットを作成した。	順調	-	
			水質汚濁防止法の排水基準見直し による指導体制の強化					家畜排せつ 物の利活用 の促進・普 及					
【基本施策】			3-1-3	化学物質対策の推進									
【施策展開】			①化学物質による環境リスクの低減										
13		有害大気汚染物質対策費 (環境部 環境保全課)	22物質 測定物質 数						県	有害大気汚染物質のうち優先取組物質である22物質の環境大気 中における濃度の実態の把握及び人の長期的曝露の実態の把握を 行った。	順調	順調	
			有害大気汚染物質、ダイオキシン類の常時監視測定										
14		大気汚染物質常時測定調査費・大気 汚染物質測定機器整備事業費 (環境部 環境保全課)	100件 立入検査 事業所数						県	工場及び事業場から排出されるばい煙等の排出を規制することにより、住民 の健康を保護し、生活環境を保全することができた。 法令に基づくばい煙発生施設等の届出の受理、届出等事業者の監視指導を 行った。 保健所の環境関係担当者に対する勉強会及び担当者会議を実施した。	順調	順調	
			工場・事業場の監視、指導										
15		農業安全対策事業 (農林水産部 営農支援課)	農薬の適正使用・販売の推進						県	約340件ある農業販売所に対して3年に1回のペースで立入検査 し、不適切な農薬販売について指導した。また、農薬販売業者やグ リーンキーパー等を対象にした農薬適正使用講習会を開催し、農薬 の使用に関する法令や最新の農薬に関する情報を周知した。	順調	概ね順調	
16		総合的病害虫管理技術推進事業 (農林水産部 営農支援課)	3品目 IPM体系が 確立した作 作物数					5品目	県	環境農薬リスク低減技術の開発のため、マイナー農薬の農薬登録 に向けた試験を実施、また天敵温存植物による天敵の飛来・増殖の 試験を行った。	順調	順調	
			技術開発・普及及び実践地域の育成										

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
17		持続的農業の推進 (農林水産部 営農支援課)	1,060件 (累計) 環境保全型農業に取り組む農家数 39産地 (累計) GAP導入産地数	1,120件 43産地	1,180件 47産地	1,240件 51産地	1,300件 54産地		県	エコファーマーは新規で11名が認定され、特別栽培農産物認証は40件(取得農家数15名)を認証し、環境保全型農業に取り組む農家数は1,112件である。 5地区5箇所GAP導入の展示ほを設置した。	順調	順調	
			農業生産工程管理 (GAP)の導入に取り組む 産地の取組支援		GAP(農業生産工程管理)の普及促進								
			有機農業に関する消費者・ 農家等への啓発活動		環境保全型農業のPR活動								
			土壌蓄積肥料及び有機質 資材を活用した減化学肥料 及び有機栽培法の開発		環境保全型農業の技術開発と普及								
			環境保全型農業直接支払交付金事業の 実施										
18		地力増強対策事業 (農林水産部 営農支援課)	3回 認定会議 開催 5地区 イベント開 催地区数						県	新型コロナウイルスの影響により例年実施していた「土壌保全の日」イベントの開催に代わり、広報誌による広報等の普及啓発を行い、土壌保全の重要性について意識向上を図った。	順調	やや遅れ	
			環境保全型農業実践者の育成、耕土流出対策の推進 (認定会議の開催、「土壌保全の日」イベント開催など)										
【基本施策】			3-1-4	騒音・振動・悪臭の防止									
【施策展開】			①道路交通騒音の環境基準の達成										
19		騒音振動対策事業 (環境部 環境保全課)	道路 区間数 29～33年 度 累計 72区間					道路 区間数 34～38年 度 累計 72区間	県	自動車騒音常時監視実施計画に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。	順調	順調	
			自動車騒音の状況の常時監視業務										

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画				実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況		
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)					R3 (2021)	R4 (2022)
【施策展開】			②航空機騒音の防止									
20		騒音振動対策事業 (環境部 環境保全課)	5地点 那覇空港 周辺地点 数						県 市	関係自治体と連携し、5地点(県4局、市1局)で那覇空港 周辺における航空機騒音の常時監視測定を行った。	順調	順調
航空機騒音の常時監視測定												
【施策展開】			③騒音・振動・悪臭の防止									
21		騒音振動対策事業 (環境部 環境保全課)	10町村 指定町村 数						県	騒音及び振動の苦情や事業所等の指導状況を把握する ための実態調査を実施した。	順調	順調
騒音に係る規制基準の設定並びに都市計画法等に基づく規制地域の指 定及び見直し												
10町村 指定町村 数												
振動に係る規制基準の設定並びに都市計画法等に基づく規制地域の指 定及び見直し												
22		悪臭防止対策事業 (環境部 環境保全課)	12町村 指定町村 数						県	悪臭の苦情や事業所等の指導状況を把握するための実態調査を 実施した。 嘉手納町と連携し嘉手納飛行場周辺の悪臭実態調査を実施し、規 制基準との比較を行った。 また、悪臭規制地域の見直しを行った。	順調	順調
悪臭に係る規制基準の設定並びに都市計画法等に基づく規制地域の指 定及び見直し												
【基本施策】			3-1-5	土壌・地下水環境の保全								
【施策展開】			①土壌・地下水汚染対策の推進									
23		土壌汚染対策推進事業 (環境部 環境保全課)	3回 講習会 2件 事例研究						県	講習会について、これまで保健所で開催してきたが今年度は新型 コロナウイルス感染症の影響で開催出来なかった。事例研究につい て、各保健所及び環境保全課の担当者が土壌汚染対策法に基づく 届出、調査、指導に関するリモート会議を6月に実施した。	やや遅れ	概ね順調
土壌汚染対策に関する講習会や事例研究の実施												
土壌汚染対策法に基づく届出等の管理台帳の作成												
土壌汚染に関する情報収集及び業務体制の構築												
土壌汚染対策法に基づく事業者、処理業者への指導												

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
24		水質保全対策事業 (環境部 環境保全課)	189地点 調査地点 数						県	河川(93地点)及び海域(75地点)の水質の測定並びに地下水水質の概況調査(6地点)、継続調査(10地点)及びその他地下水調査(5地点)を実施した。	順調	順調
公共用水域、地下水等水質の常時監視及び市町村への情報提供												
【施策展開】			②安全で環境にやさしい土壌環境の保全									
25		農薬安全対策事業 (農林水産部 営農支援課)							県	約340件ある農薬販売所に対して3年に1回のペースで立入検査し、不適切な農薬販売について指導した。また、農薬販売業者やグリーンキーパー等を対象にした農薬適正使用講習会を開催し、農薬の使用に関する法令や最新の農薬に関する情報を周知した。	順調	概ね順調
農薬の適正使用・販売の推進												
26		総合的病害虫管理技術推進事業 (農林水産部 営農支援課)	3品目 IPM体系が 確立した作物数					5品目	県	環境農薬リスク低減技術の開発のため、マイナー農薬の農薬登録に向けた試験を実施、また天敵温存植物による天敵の飛来・増殖の試験を行った。	順調	順調
技術開発・普及及び実践地域の育成												
27		持続的農業の推進 (農林水産部 営農支援課)	1,060件 (累計) 環境保全型農業に取り組む農家数 39産地 (累計) GAP導入産地数	1,120件 43産地	1,180件 47産地	1,240件 51産地	1,300件 54産地		県	エコファーマーは新規で11名が認定され、特別栽培農産物認証は40件(取得農家数15名)を認証し、環境保全型農業に取り組む農家数は1,112件である。 5地区5箇所GAP導入の展示ほを設置した。	順調	順調
農業生産工程管理 (GAP)の導入に取り組む 産地の取組支援			GAP(農業生産工程管理)の普及促進									
有機農業に関する消費者・ 農家等への啓発活動			環境保全型農業のPR活動									
土壌蓄積肥料及び有機質 資材を活用した減化学肥料 及び有機栽培法の開発			環境保全型農業の技術開発と普及									
環境保全型農業直接支払交付金事業の 実施												

[illegible]

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
33	★	赤土等流出防止営農対策促進事業 (農林水産部 営農支援課)	10組織 育成組織 数			10組織 育成組織 数		県	地域協議会(10組織)における赤土等流出防止対策(グリーンベルト、カバークロップ等)に係る活動を支援した。 赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度設計に向け、企業連携、テレビCM等、普及啓発を実施した。	順調	順調	
		農業環境コーディネート組織の育成	農業環境コーディネート組織の育成									
34	★	赤土等流出防止海域モニタリング事業 (環境部 環境保全課)	22海域 モニタリン グ海域数					県	離島を含む県内76海域において赤土等堆積状況、及び、生物生息状況の調査を実施した。 この結果、県内における重点監視海域等の赤土等堆積動向や生物生息状況を把握する事ができた。	順調	順調	
【基本施策】			3-1-7	廃棄物・リサイクル対策の推進								
【施策展開】			①廃棄物の発生抑制、リサイクル及び適正処理の推進									
35	★	ごみ減量化推進事業 (環境部 環境整備課)	38市町村 実施市町 村数					41市町村	県 市町村	市町村がスムーズに有料化出来るよう、各種週間・月間・キャンペーン(年2回)により、県民のごみ減量・リサイクルに対する意識向上を図った。	順調	順調
		市町村によるごみ収集の有料化の促進										
36	★	ごみ減量化推進事業 (環境部 環境整備課)	3回 強化月間・ 週間数						県	ごみ減量・リサイクル推進週間、3R推進月間で広報活動を実施したほか、リサイクル率の低い市町村で環境教育プログラムを実施するなど、ごみ減量やリサイクル推進に関する普及啓発活動を実施した。環境フェアは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。	やや遅れ	やや遅れ
		メディア、イベント等を活用した県民への3Rに関する意識啓発										
		市町村への事業取組依頼、技術的助言、情報提供										
37	★	建設リサイクル資材認定制度(ゆいくる)活用事業 (土木建築部 技術・建設業課)	567資材 ゆいくる材 認定資材 数 (累計)					増加	県	建設リサイクル資材製造業者からの申請はなく、新たな資材の認定はなかったが、評価基準見直しのため評価委員会を開催し、評価基準の改定を行った。その他558資材の工場等での品質確認を行い、行政関係者対象の研修を行うなど、同制度の普及を図った。	順調	順調
		ゆいくる材の利用促進										
38	★	下水汚泥有効利用 (土木建築部 下水道課)	100% 有効利用 率						県 市町村	汚泥等を有効利用するために、那覇浄化センター及び名護市等において、汚泥処理施設の改築等を行った。また、各下水道施設から発生する下水汚泥145トン/日(R2実績・県全体)全量をコンポスト(堆肥)化し肥料として緑農地還元により有効利用を推進した。	順調	順調
		下水の処理過程で発生する汚泥を肥料として緑農地還元等										

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
39	★	離島廃棄物適正処理促進事業 (環境部 環境整備課)							県	離島市町村の島内処理困難物を処理するため、令和2年度に行ったモデル地域での実証試験の成果を踏まえ必要な施設設備を整備する市町村に対し支援を行った。	順調	順調
40	★	公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備 (環境部 環境整備課)							県	最終処分場の整備に係る施設整備工事は令和元年10月に竣工し、令和元年12月に供用開始した。 地元に対する地域振興のため、名護市安和区の実施する地域振興策事業に対する補助金を交付している。	順調	概ね順調
41	★	廃棄物不法投棄対策(廃棄物不法投棄対策事業、産業廃棄物対策費) (環境部 環境整備課)	8,000件 監視/パトロール件数						県	廃棄物の不法投棄等を未然に防止するため、保健所に廃棄物監視指導員(10名)を配置し、監視パトロールを実施した。 また、宮古島市内の不法投棄物撤去を行った公益法人に対し、財政支援を実施した。	順調	順調
42	★	排出事業者及び産廃処理業者への適正処理に対する意識向上に関する取組 (環境部 環境整備課)	6回 研修会等開催数						県	産廃処理業者に対しては産廃の適正処理に関する比較的特専門的な知識の研修会を、排出事業者及び医療機関に対しては産廃の適正処理に関する基本的な知識の研修会を、北部・中部・南部・宮古・八重山の5箇所で開催した。新型コロナまん延防止重点措置に伴い、電子マニフェスト操作説明会はオンラインで実施した。	順調	概ね順調
【施策展開】			②海岸漂着ごみ対策の推進									
43	★	海岸漂着物の適正処理及び国内外の発生源対策の推進(海岸漂着物対策支援事業) (環境部 環境整備課)	12,000人 ビーチクリーン参加人数					15,000人	県、市町村、地域住民	国が創設した単年度補助金である「地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物等地域対策推進事業)」(平成31年度)を活用し、海岸漂着物の回収処理及び発生抑制対策の実施のほか、市町村へ補助金を交付した。また、第11管区海上保安本部等と連携するOCCNの活動を行ったほか、予算の確保に関して国への要請を行った。	概ね順調	概ね順調

【基本目標】			3-2	緑・水辺・景観の保全と創造								
【基本施策】			3-2-1	緑・水辺・景観の保全と創造								
【施策展開】			①公共施設等の緑化推進									
No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
44		市町村緑化推進支援事業 (土木建築部 都市公園課)	15市町村 計画策定 市町村数				→	21市町村	県	沖縄県広域緑地計画(改定計画)の周知等を行 い、市町村へ「緑の基本計画」策定及び更新の取組 を促した。	概ね順調	概ね順調
			「緑の基本計画」策定に対する市町村への技術的指導・支援									
			風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導									
45		都市公園における緑化等の推進 (土木建築部 都市公園課)	1,527ha 供用面積					→ 1,594ha (累計)	国 県 市町村	県営公園及び市町村営公園において、環境緑化や自然の保全、 緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や園路、広 場等の整備を行った。	順調	順調
			花と緑にあふれた都市公園や緑地の計画的な整備									
			風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導									
46		美ら島づくり行動計画推進事業(団体 支援等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動 団体の育 成件数						県	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的 に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑 化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通 じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。	順調	順調
			企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術の普及									
47		県民の森管理事業 (農林水産部 森林管理課)							県	森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の 内装や展示品のリニューアルを行った。 利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用 具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。	順調	順調
			県民の森の施設整備、維持管理、利用促進									
48		平和創造の森公園管理事業 (環境部 環境再生課)							県	多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自 然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図る ため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行っている。	概ね順調	順調
			平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進									
49		環境配慮型による緑化木保全対策事 業 (環境部 環境再生課)							県	防除対策に対する補助を20件実施したほか、緑化木の保全に必要 な5病害虫の防除技術の調査研究を行った。	順調	順調
			環境に配慮した病害虫防除技術の調査研究及び防除対策の実施等									

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
【施策展開】			②道路緑化の推進									
50		沖縄フラワークリエイション事業 (土木建築部 道路管理課)	70km 道路緑化・ 重点管理 延長				→	80km (累計)	県	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(80km)につ いて、緑化(草花等)・重点管理を実施した。	順調	順調
			観光地アクセス道路の緑化・重点管理									
51		主要道路における沿道空間の緑化事 業 (土木建築部 道路管理課)	280km 道路緑化・ 育成管理 延長				→	300km (累計)	県	主要道路(290km)について、沿道空間における除草や道路植栽・ 街路樹の剪定等を実施した。	順調	順調
			亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理									
52		道路緑化による沖縄らしい風景の創 出 (土木建築部 道路管理課)	340km 道路緑化・ 重点管理				→	400km (累計)	県	主要道路(380km)について、沿道空間における除草や道路植栽・ 街路樹の剪定等を実施した。	順調	順調
			亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理									
53		街路樹の植栽・適正管理 (土木建築部 道路管理課)	3.4回/年 植栽管理 頻度					→	県	沿道空間における除草や道路植栽・街路樹の剪定等を平均3.4回 実施した。	順調	順調
			街路樹の植栽・適正管理									
54		街路整備事業 (土木建築部 道路街路課)	胡屋泡瀬線、真地久茂地線外1線、汀良翁長線、 豊見城中央線外1線、マクラム通り線の整備					県	豊見城中央線(用地補償等)、城間前田線(用地補償等)、真地久 茂地線外1線(用地補償等)等の整備を行った。	順調	順調	
				1区間供用	1区間供用	3区間供用	2区間供用					
			その他路線の整備									
【施策展開】			③身近(学校、公共施設、住宅、民間施設)な緑化の推進									
55		美ら島づくり行動計画推進事業(団体 支援等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動 団体の育 成件数					→	県	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的 に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑 化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通 じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。	順調	順調
			企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術の普及									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
56		全島みどりと花いっぱい運動事業 (環境部 環境再生課)							県 市町村等	『「一島一森」で花と緑の美ら島づくり」をスローガンに全島緑化県民運動の普及啓発及び県土緑化への積極的な参加を推進した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、各種緑化活動を支援した。	順調	順調	
			行政、団体、企業等による緑化活動の支援										
57		緑化推進費 (環境部 環境再生課)							県	緑豊かな住みよい環境づくりのため、県植樹祭、学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・支援等を実施し、県土緑化の普及啓発に取り組んでいる。	概ね順調	順調	
			植樹祭、緑化コンクールの開催										
【施策展開】			④水辺空間の保全と創造										
58		自然環境に配慮した河川の整備 (土木建築部 河川課)	5.4km 整備延長					約9.4km (累計)	県	護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	概ね順調	概ね順調	
			治水対策としての多自然川づくり										
			1河川 水辺環境の 再生に取り 組む河川数					1河川 (累計)					
			河川の水辺環境の再生(リュウキュウアユの復元等)										
59		自然環境に配慮した海岸の整備 (土木建築部 海岸防災課)	約2.0km 整備延長					約2.8km (累計)	県	金武湾港海岸(ギンバル地区)において、養浜(L=254m)整備による砂浜の創出等を行った。	順調	概ね順調	
			海岸の水辺環境の再生(砂浜や海浜緑地などの創出)										
60		自然環境の保全・再生 (環境部 環境再生課)	5地域 活動地域 数					6地域	県	指針を踏まえた自然環境再生事業を実施する浦添市及びうるま市に財政支援を行うとともに、その取組(現況調査の実施、協議会の設置、全体構想の策定、再生事業の実施)を支援した。また、新型コロナ感染対策のため、参加者を絞って、再生事業に取り組む市町村でネットワーク会議を実施し、情報交換を行った。	順調	順調	
			自然再生の推進										
【施策展開】			⑤良好な都市景観の形成										
61		沖縄らしい風景づくり促進事業(景観行政団体への移行促進) (土木建築部 都市計画・モノレール課)	32団体 景観行政団 体数 (累計)	34団体	36団体	38団体	41団体		県、市町 村	市町村の景観行政団体移行に向けての助言等を5町村(東村、金武町、嘉手納町、南大東村、多良間村)に対して行った。	順調	順調	
			景観行政団体移行促進、景観計画策定支援										

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
62		沖縄らしい風景づくり促進事業(景観計画策定及び景観地区指定の支援) (土木建築部・都市計画・モノレール課)	29市町村 景観計画 (累計)	32市町村	35市町村	38市町村	41市町村		県、市町村	景観地区等指定に向けて取り組んでいる1市1町2村(浦添市、竹富町、北大東村、恩納村)に対して、指定に係る助言等を行った。浦添市に関しては1地区を指定し、北大東村に関しては県協議を完了した。	やや遅れ	やや遅れ
景観計画・景観向上行動計画の策定支援												
7地区 景観地区 (累計)	9地区		14地区	19地区	24地区							
景観地区指定の支援												
63		沖縄らしい風景づくり促進事業(景観アセスメント構築、実施) (土木建築部・都市計画・モノレール課)	40件 景観アセス数 (累計)	50件	60件	70件	80件		県	「沖縄県景観検討の基本方針(H29本格運用版)」に基づき、道路6事業、公共建築2事業、河川1事業、港湾1事業(計10事業)を対象に景観アセスメントとして景観評価システムの運用を実施した。	概ね順調	概ね順調
景観アセスメント構築、実施												
64		沖縄らしい風景づくり促進事業(地域景観の形成を図る人材の育成) (土木建築部・都市計画・モノレール課)	300人 講習修了数						県	人材育成業務は、活動内容を地域住民の話し合いで決定し、集団で制作・美化活動を行うことから、新型コロナウイルス感染リスクが高く、中止とした。	未着手	順調
景観形成人材育成 (地域人材、地域を支援・景観を形成する専門家の育成)												
65		沖縄らしい風景づくり促進事業(景観地区指定の支援) (土木建築部・都市計画・モノレール課)	7地区 景観地区数(累計)	9地区	14地区	19地区	24地区		県、市町村	景観地区等指定に向けて取り組んでいる1市1町2村(浦添市、竹富町、北大東村、恩納村)に対して、指定に係る助言等を行った。浦添市に関しては1地区を指定し、北大東村に関しては県協議を完了した。	大幅遅れ	大幅遅れ
統一景観の創造(建築物の形態意匠、高さ、壁面の位置等)												
地域の特色を活かした集落内公共施設の整備 (景観重要公共施設の指定等)												
66		自然環境に配慮した河川の整備 (土木建築部 河川課)	5.4km 整備延長				約9.4km (累計)		県	護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	概ね順調	概ね順調
治水対策としての多自然川づくり												
1河川 水辺環境の再生に取り組む河川数						1河川 (累計)						
河川の水辺環境の再生(リュウキュウアユの復元等)												

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
67		景観・親水性に配慮した海岸の整備 (土木建築部 海岸防災課)	約9.1km 整備延長				約10.0km (累計)		県	うるま市の中城湾港海岸(豊原地区)(L=148m)において、景観・親水性に配慮した海岸整備を行った。	順調	順調
			利用者に配慮した海岸整備 (傾斜式護岸や階段工・スロープなど)									
68		都市公園における風景づくり (土木建築部 都市公園課)	33.5ha 供用面積				56.9ha (累計)		国 県	沖縄らしい文化的な歴史資産、風土および自然と共生する憩いの場を創出するため、首里城公園において、文化財調査、レストセンター改修、中城公園、浦添大公園において、園路、広場整備を行った。	やや遅れ	順調
			歴史景観と調和する都市公園の整備 (首里城公園、中城公園、浦添大公園)									
69		無電柱化推進事業 (土木建築部 道路管理課)	6.0km 無電柱化 整備延長	6.0km	6.0km	6.0km	6.0km		国 県 市町村	無電柱化整備総延長について、令和3年度は国が ¹ 1.3km、県が1.5km、市町村が ² 2.0km、合計で4.8kmを整備した。	概ね順調	概ね順調
			要請者負担方式等による無電柱化の推進(景観)									
70		古民家の保全・継承 (土木建築部 住宅課)	1回/年 シンポジウ ムの開催				中止		県 市町村 関係団体	建築関係技術者向けの講演会で、環境共生住宅に係る講演を行い、説明および事例紹介等を行う。 R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による業務縮小のため、委託業務は中止となったため未着手とした。	未着手	順調
			古民家の再生・保全の啓発									
【施策展開】			⑥良好な自然・農村景観の保全と創造									
71		美ら島づくり行動計画推進事業(団体 支援等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動 団体の育 成件数						県	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。	順調	順調
			企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術の普及									
72		県民の森管理事業 (農林水産部 森林管理課)							県	森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の内装や展示品のリニューアルを行った。 利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。	順調	順調
			県民の森の施設整備、維持管理、利用促進									
73		平和創造の森公園管理事業 (環境部 環境再生課)							県	多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図るため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行っている。	概ね順調	順調
			平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進									

【基本施策】			3-2-2 歴史・文化環境の保全と創造									
【施策展開】			①文化財の適切な保存と活用									
No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
74		無形文化財記録作成事業 (教育庁 文化財課)	3件 成果品 点数						保存会 保持者	琉球舞踊の保持者記録(聞き取り調査、演舞記録)、九州地区民俗芸能大会の記録集を作成。琉球古典箏曲においては最終年度のため、映像等の記録DVDを添付した調査報告書を作成。また、無形文化財・無形民俗文化財を保存継承するための基礎・基本を示す教則的なものとして活用した。	順調	順調
			無形文化財の映像記録作成									
75		県文化財保護審議会の開催 (教育庁 文化財課)							県	令和4年3月に文化財保護審議会を開催し、無形文化財(芸能)2件についての答申案について審議を行った。	順調	順調
			文化財保護審議会の開催									
76		史跡等の整備 (教育庁 文化財課)							県 市町村	国指定史跡等において24件(内3件は次年度へ繰り越し)の保存修理事業を実施し、石積の解体や修復工事、災害復旧工事、調査測量、史跡公園整備などを実施した。各事業の整備委員会に出席し、整備方法や整備基本計画、基本設計の策定について指導助言を行った。	順調	概ね順調
			県及び市町村の史跡、名勝の整備									
77		埋蔵文化財の発掘調査 (教育庁 文化財課)							県 市町村	令和3年度の埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業件数は27件あり、埋蔵文化財の表面踏査や試掘・確認調査及び記録保存調査を実施した。また、報告書等の刊行によって各種開発事業者や県民へ周知を図るとともに、協議・調整及び遺跡保存の資料に資することができた。	順調	順調
			埋蔵文化財の範囲確認及び記録保存調査									
78		円覚寺跡保存整備 (教育庁 文化財課)							県	那覇市の建築基準法第3条適用の除外に伴って8月に申請し、10月に承認を受けた。承認後、工事発注に向けた準備を受け、11月に契約を実施し、工事に着工した。当初、防災防火設備を円覚寺跡整備委員会で検討の予定だったが、コロナの影響を考慮し、会議は開催せずに、文化庁の調査官に現状の確認と整備指導を受けた。	順調	順調
			三門の復元 0棟→1棟									
79		史料編集事業 (教育庁 文化財課)	212冊 史料編集 刊行物数 (累計)					226冊	県	各専門部会において、『各論編現代』は原稿の検討、『同言語』はモデル原稿等の検討を行った。『同芸能』は内容構成や編集方針等の検討を行った。『ビジュアル版沖縄戦』は掲載写真等の検討を行った。中国第一歴史檔案館との学術交流は新型コロナ感染症対策のため中止となった。	順調	順調
			新沖縄県史編集刊行物の発行									
80		琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業 (教育庁 文化財課)	32冊 事業関連 刊行物数 (累計)					54冊	県	『歴代宝案訳注本第8冊』『歴代宝案参考資料22』『訳注本第15冊』『参考資料23』『ベッテルハイム日誌及び公式書簡1』『中琉歴史関係檔案』3冊、デジタルアーカイブ普及用パンフレットの合計7冊の刊行を行った。『表奏文書満文翻訳』は原稿校閲委託を行った。『宝案概説』は構成内容の検討を行った。また、琉球王国交流史デジタルアーカイブを開設した。	順調	順調
			琉球王国外交文書等の編集刊行物の発行									

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
81		琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業 (総務部 総務私学課)	1.1万簿冊 デジタル撮影数				13万簿冊 (累計)		県	琉球政府文書12,049簿冊のデジタル化を行い、劣化資料については紙力強化など必要な修復措置を行った。 またデジタル化した資料については、書誌情報の登録及び個人情報等保護措置を行い、38,760簿冊をインターネットで公開した。	順調	順調
			琉球政府文書等の保存措置及びデジタル化、ホームページ公開									
82		在米沖縄関係資料収集公開事業 (総務部 総務私学課)	資料44,700点 資料の選定	資料の収集			44,700点 (累計)		県	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により米国国立公文書館の利用ができなかったため、資料の収集を中止したが、過年度までに収集し翻訳整理した資料及び公文書館に寄贈された写真等について、個人情報利用制限等の審査を行う等公開用データを作成し、ホームページで公開した。	未着手	未着手
			沖縄関係資料の収集及び公開									
83		基地内埋蔵文化財分布調査 (教育庁 文化財課)							県市	普天間飛行場に所在する伊佐上原遺跡群A地点及び伊佐上原南遺跡北西部の確認調査を実施した。また、これまでに実施した普天間飛行場内の試掘調査で得られた資料について整理作業を行い、総括報告書を刊行した。	順調	概ね順調
			普天間飛行場内の試掘・確認調査									
【施策展開】			②良好な自然・農村文化の保全と創造									
84		農村集落基盤・再編・整備事業 (農林水産部 農地農村整備課)							県市町村	真壁西地区(糸満市)他1地区において、農業生産基盤および農村生活環境の整備に対する補助を行った。	順調	順調
			自然環境・生態系保全施設の整備									
【基本施策】			3-2-3									
【施策展開】			①森林生態系の保全									
85		生物多様性おきなわ戦略の普及啓発 (環境部 自然保護課)		「生物多様性おきなわ戦略」の改訂				生物多様性おきなわ戦略の改定(R5年度まで)	県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助となるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きもののいっせい調査」を実施した。 生物多様性保全利用指針宮古・久米島編暫定版の策定に併せ宮古島市でシンポジウムを実施した。	順調	順調
			生物多様性おきなわ戦略の改訂に向けた情報の収集と課題の整理 移動展示、パンフレット等の作成									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
86		生物多様性地域戦略事業 (環境部 自然保護課)	5% 生きもの いっせい調 査の回収率 向上			→	8%		県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助となるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きものいっせい調査」、一般を対象にフォトコンテストを実施した。その情報をHPIに一元化し、県民への普及啓発を図った。	順調	順調
87		生物多様性おきなわブランド発信事業 (環境部 自然保護課)	事業検討委員会の実施					生物多様 性保全利 用指針(仮 称)の公開	県	生物多様性情報の収集について沖縄島周辺諸島及び大東諸島9地域を対象に実施することができた。情報の収集・指針の策定に関する事業検討委員会を開き、また、ホームページの情報更新を行うことで普及啓発に努めた。	順調	順調
生物多様性情報の収集												
情報発信コンテンツの制作												
88		国立自然史博物館の誘致 (環境部 自然保護課)							県	国立自然史博物館の認知度の向上及び県内誘致に向けた機運醸成を図るため、令和3年12月27日から令和4年2月28日の期間で誘致セミナー(YouTube配信)を開催したほか、県内4箇所(県立博物館・美術館、沖縄こどもの国、道の駅ゆいゆい国頭、県民ホール)で誘致企画展を開催する等の取組を行った。	順調	順調
89		野生生物の保全・保護事業 (環境部 自然保護課)	0種 希少野生動 植物指定数 (希少種保護 条例)			→	6種		県	指定希少野生動植物種に10種を追加指定した。生物多様性おきなわブランド発信事業において、沖縄島周辺諸島及び大東諸島9地域を対象に現地調査・文献調査を実施した。	順調	順調
		特殊鳥類生息環境調査及び鳥獣保護区生息状況調査事業 (環境部 自然保護課)	2区 鳥獣保護 区予定区 数	4区	4区	2区	2区	2区	県	鳥獣保護区等候補地において、地元市町村及び関係者等と意見交換等に取り組んだ。 また、既存の鳥獣保護区等において生息調査の実施や、鳥獣保護管理員と連携しながら野生鳥獣の分布状況などについて調査した。	概ね順調	順調
			鳥獣保護区指定のために必要な鳥獣の生育状況と成育環境の把握の 為の調査									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
91		希少種回復状況調査 (環境部 自然保護課)	1エリア 調査エリア 数				5エリア (累計)		県	沖縄島北部地域を1エリアと設定し、プレイバック調査、自動撮影カメラによる調査等を行い、調査エリア数の実績値が1エリアとなった。	順調	順調	
やんばる地域を踏査し、希少種の分布域等を把握													
92		うちなーロードセーフティー事業 (土木建築部 道路管理課)	対策工事、モニタリング					県	道路除草等を実施し、視認性を確保することでロードキル防止対策を実施した。	順調	順調		
【施策展開】			②多様な生物の生息・生育環境の保全										
93		自然環境保全地域指定事業 (環境部 自然保護課)	12地域 指定数				14地域 (累計)		県	ホームページ等による情報発信や自然環境保全地域の管理を行った。	概ね順調	順調	
自然環境保全地域指定													
94		鳥獣保護区設定事業 (環境部 自然保護課)	27地区 鳥獣保護 区数				34地区 (累計)		県	鳥獣保護区等候補地において、地元市町村及び関係者等と意見交換等に取り組んだ。また、既存の鳥獣保護区等において、鳥類の生息数調査の実施や、鳥獣保護管理員と連携しながら、鳥獣保護区の管理に取り組んだ。	概ね順調	概ね順調	
鳥獣保護区の指定													
95		世界自然遺産登録推進事業 (環境部 自然保護課)	遺産地域の適切な保 全・管理手法を検討す る地域部会の開催	地域部会・フォーラムの 開催や、希少種保護、 外来種対策など世界自 然遺産登録に向けた取 組			世界自然遺産登録後 の遺産価値の適切な 維持・管理のための取 組		県	世界自然遺産登録を実現し、登録後の遺産価値の維持と適正利用の両立を図るため、次の事業に取り組んだ。 ①地域別行動計画の検証、地域参画の推進等②持続的観光マスタープランモデル事業の実施③イリオモテヤマネコの交通事故防止対策④ノイヌ・ノネコ対策⑤普及啓発⑥希少種の密猟防止対策	順調	順調	
		世界自然遺産の普及 啓発のためのフォー ラムの開催											
【施策展開】			③森林・みどりの整備の推進										
96		森林病虫害等防除事業 (農林水産部 森林管理課)	4,398㎡ 松くい虫被 害量	4,298㎡	4,198㎡	4,098㎡	3,998㎡		県	本島北部地域において薬剤散布57.5haを行うと共に、松くい虫被害木の伐倒駆除を881㎡実施した。 また、市町村実施の防除事業に対して12件補助を行った。	順調	順調	
森林病虫害の薬剤防除、伐倒駆除などの防除対策の実施													
97		造林事業 (農林水産部 森林管理課)	44ha 造林等 面積						県	無立木地への造林や複層林整備を27ha実施し、既存造林地において下刈り475ha、除伐等45haの森林整備を実施した。	概ね順調	概ね順調	
無立木地への造林や複層林整備の実施													

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
98		美ら島づくり行動計画推進事業(団体支援等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動団体の育成件数						県	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援(緑化技術講習会の開催等)を行った。また、緑化活動団体の支援を通じて優良花木等の増殖技術の普及を行った。	順調	順調
			企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術の普及									
99		県民の森管理事業 (農林水産部 森林管理課)							県	森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の内装や展示品のリニューアルを行った。 利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。	順調	順調
			県民の森の施設整備、維持管理、利用促進									
100		平和創造の森公園管理事業 (環境部 環境再生課)							県	多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図るため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行っている。	概ね順調	順調
			平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進									
【施策展開】			④外来種対策の推進									
101	★	マングース対策事業 (環境部 自然保護課)	500個体 マングース 駆除数				300個体		県	第1北上防止柵と第3北上防止柵の間のエリアにおいて、マングースの捕獲等を実施した。わなやマングース探索犬の活用により、414個体のマングースを捕獲した。また、やんばる地域にて、希少種回復状況調査を実施し、ヤンバルクイナの推定生息範囲が拡大していることが確認できた。	順調	順調
			マングースの防除									
			北上防止柵のモニタリング									
			希少種回復状況調査									
102	★	外来種対策事業 (環境部 自然保護課)	6種 外来種対策実施種				8種 (累計)		県	沖縄県外来種対策指針等に基づき、生態系への影響が大きい外来種の捕獲、ヒアリ等の侵入・定着防止のためのモニタリング調査を実施した。 また、主に第1北上防止柵からの第3北上防止柵の間のエリアにおいて、マングースの捕獲等を実施するとともに、沖縄島北部地域において希少種回復状況調査を実施した。	順調	順調
			外来種の侵入、定着状況等調査									
			優先度に応じた捕獲対策									
			侵入のおそれのある外来種に関する情報提供・普及啓発									
			指針策定		行動計画策定							

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
【施策展開】			⑤自然との触れ合いの場の保全と創造										
103	★	事業者間による保全利用協定締結の促進(環境保全型自然体験活動推進事業) (環境部 自然保護課)	6件 保全利用 協定認定 数					10件 (累計)	県	保全利用協定の新規締結に向けた支援の他、協定締結メリットを検討するため、締結地域のヒアリングや旅行業界向け勉強会、締結事業者間の懇談会、オンラインでの制度説明会の開催を行った。	順調	順調	
保全利用協定の活用方策の検討、制度メリット構築													
104	★	エコツーリズムの推進 (文化観光スポーツ部 観光振興課)	1件 プロモーション 支援						県 市町村	観光情報サイトにおいて市町村における自然環境に配慮したルール等に関する周知を実施した。	順調	順調	
市町村等が行う観光資源の利用ルール等の策定やプロモーション、人材育成などへの支援													
105	★	エコツーリズムの推進 (文化観光スポーツ部 観光振興課)	3件 情報発信 支援数						県	観光情報サイト等において、エコツーリズムに係るコンテンツに係る情報発信を3件行った。	順調	やや遅れ	
プログラムメニュー情報を紹介するWebコンテンツの作成・更新													
コーディネーターの育成													
品質保証制度の検討・構築・導入													
【基本施策】			3-2-4 陸水生態系の保全・再生										
【施策展開】			①陸水生態系の保全										
106	★	生物多様性おきなわ戦略の普及啓発 (環境部 自然保護課)		「生物多様性おきなわ戦略」の改訂				生物多様性おきなわ戦略の改定(R5年度まで)	県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助となるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きものいっせい調査」を実施した。 生物多様性保全利用指針宮古・久米島編暫定版の策定に併せ宮古島市でシンポジウムを実施した。	順調	順調	
生物多様性おきなわ戦略の改訂に向けた情報の収集と課題の整理 移動展示、パンフレット等の作成													

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
107	★	生物多様性地域戦略事業 (環境部 自然保護課)	5% 生きもの いっせい調 査の回収率 向上				→8%		県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助となるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きものいっせい調査」、一般を対象にフォトコンテストを実施した。その情報をHPIに一元化し、県民への普及啓発を図った。	順調	順調	
			生きものフォトコンテスト等、生物多様性の普及										
			教育関係機関との連携、次代を担う児童生徒を対象とした普及啓発										
			生物多様性プラットフォームの構築、本県の生物多様性に関する情報の一元化										
108	★	生物多様性おきなわブランド発信事業 (環境部 自然保護課)	事業検討委員会の実施						生物多様 性保全利 用指針(仮 称)の公開	県	生物多様性情報の収集について沖縄島周辺諸島及び大東諸島9地域を対象に実施することができた。情報の収集・指針の策定に関する事業検討委員会を開き、また、ホームページの情報更新を行うことで普及啓発に努めた。	順調	順調
			生物多様性情報の収集										
			情報発信コンテンツの制作										
109		国立自然史博物館の誘致 (環境部 自然保護課)							県	国立自然史博物館の認知度の向上及び県内誘致に向けた機運醸成を図るため、令和3年12月27日から令和4年2月28日の期間で誘致セミナー(YouTube配信)を開催したほか、県内4箇所(県立博物館・美術館、沖縄こどもの国、道の駅ゆいゆい国頭、県民ホール)で誘致企画展を開催する等の取組を行った。	順調	順調	
			県民等への普及啓発、国等への要請										
110	★	野生生物の保全・保護事業 (環境部 自然保護課)	0種 希少野生動 植物指定数 (希少種保護 条例)				→6種		県	指定希少野生動植物種に10種を追加指定した。生物多様性おきなわブランド発信事業において、沖縄島周辺諸島及び大東諸島9地域を対象に現地調査・文献調査を実施した。	順調	順調	
			希少種保護条例の制定										
			野生生物の生息・生育状況調査										
			自然環境保全の指針策定										
			レッドデータ沖縄の改訂										
111	★	特殊鳥類生息環境調査及び鳥獣保護区生息状況調査事業 (環境部 自然保護課)	2区 鳥獣保護 区予定区 数	4区	4区	2区	2区	2区	県	鳥獣保護区等候補地において、地元市町村及び関係者等と意見交換等に取り組んだ。 また、既存の鳥獣保護区等において生息調査の実施や、鳥獣保護管理員と連携しながら野生鳥獣の分布状況などについて調査した。	概ね順調	順調	
			鳥獣保護区指定・管理のために必要な鳥獣の生育状況と成育環境の把握の為の調査										

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
112		水質関係事業所等監視指導事業 (環境部 環境保全課)	100件 立入検査 及び指導 等件数					県	水質汚濁防止法に係る特定事業場への立入検査及び特定施設届出の審査を行った。	やや遅れ	順調	
			事業者に対する改善指導及び事業場等への立入検査の実施									
113		水質保全対策事業 (環境部 環境保全課)	189地点 調査地点 数					県	河川(93地点)及び海域(75地点)の水質の測定並びに地下水水質の概況調査(6地点)、継続調査(10地点)及びその他地下水調査(5地点)を実施した。	順調	順調	
			公共用水域、地下水等水質の常時監視及び市町村への情報提供									
114		水質測定機器整備事業 (環境部 環境保全課)						県	石油貯蔵施設から発生する公害を監視するため、衛生環境研究所及び石油貯蔵施設が立地する地域の保健所(中部・南部)において、環境監視測定機器等の整備を行った。また、衛生環境研究所においては高額機器を整備した。	順調	順調	
			石油貯蔵施設が立地する地域の保健所等で必要な公害監視機器等の整備・更新									
115		水質環境保全啓発推進事業 (環境部 環境保全課)	6河川 (流域14市 町村)指定 数					県	市町村の生活排水対策の啓発に関して、HP上に対策パンフレットを掲載したほか、市町村との会議で生活排水対策の重要性を説明した。また、公共用水域で発生した魚類のへい死事故について、原因究明のための水質調査を行った。	順調	順調	
			生活排水対策重点地域指定の解除に向け、河川流域市町村による生活排水対策としての汚濁負荷低減の啓発に関する支援									
116		浄化槽管理対策事業 (環境部 環境整備課)	1,500人 受講者数					県	浄化槽の適正な維持管理及び合併処理浄化槽の普及啓発のため、浄化槽の日に係るパネル展示、県内情報誌等による広報、新聞広告への知事挨拶文掲載、県内5カ所の保健所において、浄化槽設置者に向けた講習会、維持管理に関する指導を行った。	概ね順調	順調	
			浄化槽の適切な維持管理に関する指導・普及啓発									
			浄化槽設置者講習会の実施									
117		下水道事業 (土木建築部 下水道課)	72.4% 下水道整 備率					県 市町村	那覇、宜野湾、具志川、西原の4浄化センターにおいて引き続き下水道施設の増設及び老朽化施設の改築・更新を行った。また、下水道事業実施市町村へ国からの交付金を配分するとともに、那覇市など23市町村において汚水管渠等の整備を推進し、下水道の普及に努めた。	順調	順調	
			地域性を考慮した下水道整備の推進									
118		農業集落排水事業 (農林水産部 農地農村整備課)	67.0% 汚水処理人 口普及率					県 市町村	恩納第2地区(恩納村)他19地区において、農業集落排水施設の整備又は更新に対する補助を行った。	順調	順調	
			汚水処理施設整備支援									

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
119	★	沖縄型畜産排水対策課題解決モデル事業(R3復活) (農林水産部 畜産課)	92人 畜産排水処理技術者の育成	→	102人		乳用牛農家における家畜排せつ物の対策方針策定		県	酪農家の家畜ふん尿の課題について、協議会を3回開催するとともに、家畜排せつ物処理実態調査を10農家実施。臭気処理技術について2事例検討を行った。また、酪農環境課題対策方針の策定、農家用パンフレットを作成した。	順調	-
【施策展開】			②自然環境に配慮した憩い潤いのある水辺づくりの推進									
120	★	自然環境に配慮した河川の整備 (土木建築部 河川課)	5.4km 整備延長			→	約9.4km (累計)		県	護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	概ね順調	概ね順調
			治水対策としての多自然川づくり									
			1河川 水辺環境の再生に取り組む河川数			→	1河川 (累計)					
			河川の水辺環境の再生(リュウキュウアユの復元等)									
121	★	自然環境に配慮した海岸の整備 (土木建築部 海岸防災課)	約2.0km 整備延長			→	約2.8km (累計)		県	金武湾港海岸(ギンバル地区)において、養浜(L=254m)整備による砂浜の創出等を行った。	順調	概ね順調
			海岸の水辺環境の再生(砂浜や海浜緑地などの創出)									
122	★	自然環境の保全・再生 (環境部 環境再生課)	5地域 活動地域数			→	6地域		県	指針を踏まえた自然環境再生事業を実施する浦添市及びうるま市に財政支援を行うとともに、その取組(現況調査の実施、協議会の設置、全体構想の策定、再生事業の実施)を支援した。また、新型コロナウイルス感染対策のため、参加者を絞って、再生事業に取り組む市町村でネットワーク会議を実施し、情報交換を行った。	順調	順調
【施策展開】			③多様な生物の生息・生育環境の保全									
123	★	自然環境保全地域指定事業 (環境部 自然保護課)	12地域 指定数				→	14地域 (累計)	県	ホームページ等による情報発信や自然環境保全地域の管理を行った。	概ね順調	概ね順調
			自然環境保全地域指定									
124	★	鳥獣保護区設定事業 (環境部 自然保護課)	27地区 鳥獣保護区数				→	34地区 (累計)	県	鳥獣保護区等候補地において、地元市町村及び関係者等と意見交換等に取り組んだ。また、既存の鳥獣保護区等において、鳥類の生息数調査の実施や、鳥獣保護管理員と連携しながら、鳥獣保護区の管理に取り組んだ。	概ね順調	概ね順調
			鳥獣保護区の指定									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)				
130		野生生物の保全・保護事業 (環境部 自然保護課)	0種 希少野生動物 植物指定数 (希少種保護 条例)				6種	県	指定希少野生動物種に10種を追加指定した。生物多様性おきな わブランド発信事業において、沖縄島周辺諸島及び大東諸島9地域 を対象に現地調査・文献調査を実施した。	順調	順調
希少種保護条例の制定											
野生生物の生息・生育状況調査											
自然環境保全の指針策定											
			レッドデータ沖縄の改 訂								
131	★	ジュゴン保護対策事業 (環境部 自然保護課)	生息状況調査					県	ジュゴンの生息状況調査(情報収集及び現地調査)、普及啓発(チ ラシの作成、配布及び展示会での出展)等を実施した。	順調	順調
生息藻場特性の整理											
			保護方策の検討								
132	★	サンゴ礁保全再生地域モデル事業 (環境部 自然保護課)	0地域 モデル 地域				2地域	県	モデル地域として選定した恩納村と久米島町の2地域において、サン ゴ礁保全再生活動を支援した。また、低コスト化のための幼生や 稚サンゴの効率的な飼育方法の検討や白化現象による死亡が起こ りにくい環境条件の解明等を行った。	順調	順調
サンゴ礁保全再生地域モデルの構築											
サンゴ種苗の植付費用の低コスト化等に係る調査研究											
			サンゴの白化対策等の調査研究								
133	★	オニヒトデ総合対策事業 (環境部 自然保護課)	2海域 実証海域 数					県	新規3団体に稚ヒトデモニタリングのトレーニングを実施した。ま た、流域水質調査や稚ヒトデトラップの開発等の調査研究を実施し た。	順調	順調
モデル海域においてオニヒトデ大量発生の予察実証を実施											
オニヒトデ大量発生メカニズムの解明に関する調査研究											
			効果的・効率的な防除対策の検討								
134	★	サンゴ礁生態系保全・再生のための 取組 (農林水産部 水産課)	8海域 保全海域 数	8海域	7海域	7海域	7海域	県 地域活動 組織	環境・生態系を保全する取組として、藻場・サンゴ礁での食害生物 (オニヒトデやウニ)の除去やサンゴの植え付け、種苗放流、海洋汚 染等の原因となる漂流・漂着物・堆積物の処理等を行った。	やや遅れ	順調
漁業者等が行うサンゴの移植やオニヒトデ駆除に対する支援											

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
135	★	水産資源の持続的な利活用 (農林水産部 水産課)	・スジアラ、シロクラベラ資源管理対策実施海域の拡大 ・海洋保護区における資源回復状況モニタリングと新規保護区設定の検討 ・イセエビ、セミエビ類等、管理対象種の追加と管理対策の拡充 ・各地域の資源管理計画の実施状況確認						県	県内10市場にてアカジン・マクブ等の漁獲状況を調査した。また外部委託により、資源管理に関する一般県民の認識について、アンケート調査を実施するとともに、資源管理の取組みの周知を図るため、専用WEBページを制作し、ポスター配布や釣り専門誌への掲載とあわせて効率的な広報活動を実施した。	順調	順調
136	★	海洋保護区設定事業 (環境部 自然保護課)	生物多様性の保全に重要な海域の把握 生物多様性の保全に重要な海域を対象にした保護区等の設定						県	鳥獣保護管理員を活用し指定候補地の鳥類の生息状況調査を行うなど、指定に向けたデータの収集・蓄積を行った。また、令和4年度以降の鳥獣保護区の指定に向け、第13次鳥獣保護管理事業計画を策定した。	やや遅れ	概ね順調
137	★	赤土等流出防止対策推進事業 (環境部 環境保全課)	1回 交流会数					→	県	赤土等流出防止対策等の周知活動の一環として、県民を対象とした赤土等流出防止交流会や土木業者等を対象とした講習会を開催した。	やや遅れ	概ね順調
			2回 講習会開催数					→				
			赤土等流出防止対策交流会・講習会の開催									
138	★	水質保全対策事業(耕土流出防止型) (農林水産部 農地農村整備課)	承排水路、沈砂池、浸透池等の流出水対策 農地の勾配修正、グリーンベルト、畑面植生等の発生源対策						県 市町村	宜野座村第5地区(宜野座村)他11地区において流出防止対策及び発生源対策の整備を行った。	順調	順調
【施策展開】			②自然環境に配慮した海辺づくりの推進									
139		自然環境に配慮した海岸の整備 (土木建築部 海岸防災課)	約2.0km 整備延長				→	約2.8km (累計)	県	金武湾港海岸(ギンバル地区)において、養浜(L=254m)整備による砂浜の創出等を行った。	順調	概ね順調
			海岸の水辺環境の再生(砂浜や海浜緑地などの創出)									
140		自然環境の保全・再生 (環境部 環境再生課)	5地域 活動地域数					→	県	指針を踏まえた自然環境再生事業を実施する浦添市及びうるま市に財政支援を行うとともに、その取組(現況調査の実施、協議会の設置、全体構想の策定、再生事業の実施)を支援した。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加者を絞って、再生事業に取り組む市町村でネットワーク会議を実施し、情報交換を行った。	順調	順調
			自然再生の推進									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
【施策展開】			③海辺の自然との触れ合いの場の保全と創造									
141		事業者間による保全利用協定締結の促進(環境保全型自然体験活動推進事業) (環境部 自然保護課)	6件 保全利用 協定認定 数			→		10件 (累計)	県	新規協定締結候補地域の調査を行うとともに、既存締結地域及び新規候補地域においてヒアリングを実施し、協定締結のメリット創出に向けた検討等を行った。	順調	順調
			保全利用協定の活用方策の検討、制度メリット構築									
【基本施策】			3-2-6	都市生態系・農地生態系の保全・再生								
【施策展開】			①自然環境に配慮した憩い潤いのある緑・水辺づくりの推進									
142		市町村緑化推進支援事業 (土木建築部 都市公園課)	15市町村 計画策定 市町村数			→	21市町村		県	沖縄県広域緑地計画(改定計画)の周知等を行い、市町村へ「緑の基本計画」策定及び更新の取組を促した。	概ね順調	概ね順調
			「緑の基本計画」策定に対する市町村への技術的指導・支援									
			風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導									
143		都市公園における緑化等の推進 (土木建築部 都市公園課)	1,527ha 供用面積			→	1,594ha (累計)		国 県 市町村	県営公園及び市町村営公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備を行った。	順調	順調
			花と緑にあふれた都市公園や緑地の計画的な整備									
144		耕作放棄地対策事業 (農林水産部 村づくり計画課)	316ha (45%) 耕作放棄 地解消面 積			→	700ha (100%)		耕作放棄 地協議会 (～H30) 市町村 (H30～)	地域における課題の解決に向け、荒廃農地の再生作業の取り組みを支援し、農地の確保及びその有効利用を図った。	大幅遅れ	大幅遅れ
			耕作放棄地の再生のための土壌改良や施設等の補完整備	耕作放棄地の再生のための伐開作業や土壌改良								
145		自然環境に配慮した河川の整備 (土木建築部 河川課)	5.4km 整備延長			→	約9.4km (累計)		県	護岸に自然石を使用する等、環境・景観に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生を図る。	概ね順調	概ね順調
			治水対策としての多自然川づくり									
			1河川 水辺環境の 再生に取り 組む河川数			→	1河川 (累計)					
			河川の水辺環境の再生(リュウキュウアユの復元等)									

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
【施策展開】			②廃棄物の発生抑制、リサイクル及び適正処理、水資源対策の推進										
146		ごみ減量化推進事業 (環境部 環境整備課)	38市町村 実施市町村数					→	41市町村	県 市町村	市町村がスムーズに有料化出来るよう、各種週間・月間・キャンペーン(年2回)により、県民のごみ減量・リサイクルに対する意識向上を図った。	順調	順調
			市町村によるごみ収集の有料化の促進										
147		ごみ減量化推進事業 (環境部 環境整備課)	3回 強化月間・週間数						→	県	ごみ減量・リサイクル推進週間、3R推進月間で広報活動を実施したほか、リサイクル率の低い市町村で環境教育プログラムを実施するなど、ごみ減量やリサイクル推進に関する普及啓発活動を実施した。環境フェアは新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。	やや遅れ	やや遅れ
			メディア、イベント等を活用した県民への3Rに関する意識啓発										
			市町村への事業取組依頼、技術的助言、情報提供										
148		建設リサイクル資材認定制度(ゆいくる)活用事業 (土木建築部 技術・建設業課)	567資材 ゆいくる材 認定資材数 (累計)					→	増加	県	建設リサイクル資材製造業者からの申請はなく、新たな資材の認定はなかったが、評価基準見直しのため評価委員会を開催し、評価基準の改定を行った。その他558資材の工場等での品質確認を行い、行政関係者対象の研修を行うなど、同制度の普及を図った。	順調	順調
			ゆいくる材の利用促進										
149		下水汚泥有効利用 (土木建築部 下水道課)	100% 有効利用率						→	県 市町村	汚泥等を有効利用するために、那覇浄化センター及び名護市等において、汚泥処理施設の改築等を行った。また、各下水道施設から発生する下水汚泥145トン/日(R2実績・県全体)全量をコンポスト(堆肥)化し肥料として緑農地還元により有効利用を推進した。	順調	順調
			下水の処理過程で発生する汚泥を肥料として緑農地還元等										
150		廃棄物不法投棄対策(廃棄物不法投棄対策事業、産業廃棄物対策費) (環境部 環境整備課)	8,000件 監視パト ロール件数						→	県	廃棄物の不法投棄等を未然に防止するため、保健所に廃棄物監視指導員(10名)を配置し、監視パトロールを実施した。 また、宮古島市内の不法投棄物撤去を行った公益法人に対し、財政支援を実施した。	順調	順調
			不法投棄監視員の配置(3名)										
			廃棄物監視指導員の配置(6名)										
			不適正処理監視パトロール										
151		ちゅら島環境美化促進事業 (環境部 環境整備課)	5万7千人 一斉清掃 参加人数					→	7万人	県 市町村 地域住民	県民、事業者の協力を得て、夏季(6月～8月)、年末(12月)の全県一斉清掃を感染防止対策を徹底のうえ実施した。 また、新聞広告を実施したほか、全県一斉清掃の実績を取りまとめ、県ホームページ及びパネル展で公表し、県民の意識高揚を図った。	大幅遅れ	大幅遅れ
			ちゅら島環境美化全島一斉清掃の実施										

[illegible]

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
157		小規模離島再エネ最大導入事業(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業) (商工労働部 産業政策課)	機器設置	実証開始					県 電気事業者	再生可能エネルギー(再エネ)によりモーターを駆動して発電する実証機器(MGセット)と風力発電、既存ディーゼル発電機(DG)を組み合わせた運転、また、一定条件のもと、DGを全て停止し、再エネとMGセットによる再エネ100%運転の長時間安定運用の可能性を検証した。	順調	順調
158		再生可能エネルギーの導入拡大に向けた課題解決に資する取組(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業：沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業) (商工労働部 産業政策課)	ハワイ電力系統調査等					クリーンエネルギーワークショップの開催等による技術交流の促進	県 電気事業者	沖縄県とハワイ州が2021年(令和3年)5月に締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、両地域の再生可能エネルギー等クリーンエネルギーの普及拡大に向け、ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	順調
159		次世代自動車の普及促進 (環境部 環境再生課)	次世代自動車普及に向けた啓発活動						県・民間	沖縄県地図情報システムを活用し県内充電設備の設置箇所の情報発信を実施した。 また、県庁の公用車を電気自動車又はプラグインハイブリッド自動車に転換する電動車転換促進事業を実施し、県施設の充電設備環境の整備も併せて取り組むことで、県内の次世代自動車導入に寄与した。	概ね順調	概ね順調
160		エコドライブの普及促進 (環境部 環境再生課)	エコドライブの実践に向けた普及啓発						県	エコドライブの必要性について、地球温暖化防止センター等の関係機関と連携しながら広報活動等を行った。	概ね順調	大幅遅れ
161		公共交通利用環境改善事業 (企画部 交通政策課)	64% ノンステップバス導入率	66%	68%	70%	70%	ノンステップバス導入	県 交通事業者	交通弱者を含む全ての利用者の乗降性に優れるノンステップバスについて、1台の導入支援を行った。 伊佐以北のバスレーン延長のスケジュール案の作成や、てだこ浦西駅～沖国大・琉大を結ぶキャンパスバス実証実験を継続実施した。 自家用車から公共交通への利用転換促進を目的に広報活動を実施した。	順調	順調
162		交通体系整備推進事業 (企画部 交通政策課)	関係者協議会の開催 年2回					公共交通利用促進のための啓発活動、モビリティマネジメント等	国 県 市町村 交通事業者	県内の交通課題について、都市構造上・社会構造上の課題として整理した上で、その解決策を体系化し具体的な施策として取りまとめた「TDM施策推進アクションプログラム(案)」を策定した。	順調	順調

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画				実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)					R3 (2021)
【施策展開】			④環境保全型農業の推進								
168		総合的病害虫管理技術推進事業 (農林水産部 営農支援課)	3品目 IPM体系が 確立した作物数				5品目	県	環境農業リスク低減技術の開発のため、マイナー農薬の農薬登録に向けた試験を実施、また天敵温存植物による天敵の飛来・増殖の試験を行った。	順調	順調
技術開発・普及及び実践地域の育成											
169		持続的農業の推進 (農林水産部 営農支援課)	1,060件 (累計)	1,120件	1,180件	1,240件	1,300件	県	エコファーマーは新規で11名が認定され、特別栽培農産物認証は40件(取得農家数15名)を認証し、環境保全型農業に取り組む農家数は1,112件である。 5地区5箇所GAP導入の展示ほを設置した。	順調	順調
			環境保全型農業に取り組む農家数								
			39産地 (累計)	43産地	47産地	51産地	54産地				
			GAP導入産地数								
			農業生産工程管理 (GAP)の導入に取り組む 産地の取組支援	GAP(農業生産工程管理)の普及促進							
			有機農業に関する消費者・ 農家等への啓発活動	環境保全型農業のPR活動							
土壌蓄積肥料及び有機質 資材を活用した減化学肥料 及び有機栽培法の開発	環境保全型農業の技術開発と普及										
			環境保全型農業直接支払交付金事業の 実施								
170		地力増強対策事業 (農林水産部 営農支援課)	3回 認定会議 開催					県	新型コロナウイルス感染症の影響により例年実施していた「土壌保全の日」イベントは、一部地域で規模縮小して行った。「土壌保全の日」「土の日」に係る新聞広告は、例年通り実施した。	順調	やや遅れ
			5地区 イベント開 催地区数								
			環境保全型農業実践者の育成、耕土流出対策の推進 (認定会議の開催、「土壌保全の日」イベント開催など)								

【基本目標】			3-3	環境保全活動への積極的な参加								
【基本施策】			3-3-1	環境教育・環境学習の推進								
【施策展開】			①環境教育・環境学習の推進									
No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
171	★	官民・協働ネットワークづくりの推進 (環境部 環境再生課)	1回 環境教育 等推進行 動計画推 進協議会 開催数						県	本行動計画の令和2年度の実施状況を取りまとめ、協議会において進捗管理を行った。	順調	順調
172	★	環境保全啓発事業 (環境部 環境再生課)	30回 出前講座 等の開催 回数						県	沖縄県地域環境センターにより県内全域を対象に、学校や地域等での出前講座や自然観察会、啓発イベント等の環境保全啓発活動を年間を通して実施した。また、センターのホームページやセンター情報誌を活用して環境情報を発信した。	順調	順調
			環境保全に関する出前講座、自然観察会、体験イベント等									
			環境教育プログラムの普及・活用等									
			環境情報の発信									
173	★	環境教育推進校の指定 (教育庁 県立学校教育課)	1校 指定校数						県	R3年度に辺土名高校を環境教育推進校に指定。環境科を中心としたこれまでの様々な取組と、今後の取組について「SDGsの視点で検証する本校環境教育の取り組み」をテーマに研究を続け、先進校視察や課題研究を行っている。成果をまとめた中間報告会では指導助言など行い、来年度につなげる支援を行った。	順調	順調
			環境教育推進校の研究指定									
174	★	環境教育指導者講座の開催 (教育庁 県立学校教育課)	1講座 研修講座 数						県	県立総合教育センター短期研修講座の一つとして、小・中・高・特支の教員を対象に、環境学習に関する講義、講演、実践事例発表等を7月末に実施した。	順調	順調
			県立総合教育センター短期研修講座の実施									
【基本施策】			3-3-2									
【施策展開】			①自主的な環境保全活動の促進									
175		環境マネジメントシステム (ISO14001、エコアクション21)の普及 促進 (環境部 環境再生課)							県	新型コロナウイルス拡大に伴い、環境フェアや環境月間等のイベントで普及啓発を実施する予定であったが、全て中止とした。	大幅遅れ	やや遅れ
環境マネジメントシステムの認証取得支援												

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
176		ちゅら島環境美化促進事業 (環境部 環境整備課)	5万7千人 一斉清掃 参加人数					7万人	県 市町村 地域住民	県民、事業者の協力を得て、夏季(6月～8月)、年末(12月)の全 県一斉清掃を感染防止対策を徹底のうえ実施した。 また、新聞広告を実施したほか、全県一斉清掃の実績を取りまと め、県ホームページ及びパネル展で公表し、県民の意識高揚を図つ た。	大幅遅れ	大幅遅れ
			ちゅら島環境美化全島一斉清掃の実施									
【基本施策】			3-3-3									
【施策展開】			①普及・啓発活動の推進									
177		環境保全啓発事業 (環境部 環境再生課)							県	○新型コロナウイルスの感染拡大を受け、環境フェアの開催は中止 とした。 ○環境月間(6月)においては、マスコミやHPを通じた広報等により 啓発活動を実施した。	概ね順調	概ね順調
			環境月間や地球温暖化防止指針月間、環境フェア等を通した環境保全 に関する普及・啓発									
178		エコドライブの普及 (環境部 環境再生課)							県	エコドライブの必要性について、地球温暖化防止センター等の関 係機関と連携しながら広報活動等を行った。	大幅遅れ	大幅遅れ
			エコドライブの実践に向けた普及啓発									
179		生物多様性おきなわ戦略の普及啓発 (環境部 自然保護課)		「生物多様 性おきなわ 戦略」の改 訂				生物多様性 おきなわ戦 略の改定(R 5年度まで)	県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助と なるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きもののいっせい 調査」を実施した。 生物多様性保全利用指針宮古・久米島編暫定版の策定に併せ宮 古島市でシンポジウムを実施した。	順調	順調
			生物多様性おきなわ戦略の改訂に向けた情報の収集と課題の整理 移動展示、パンフレット等の作成									
180		生物多様性地域戦略事業 (環境部 自然保護課)	5% 生きもの いっせい調 査の回収率 向上					8%	県	生物多様性の普及啓発と県内の生物多様性の状況把握の一助と なるよう、県内小学校の4～6学年全員を対象に「生きもののいっせい 調査」、一般を対象にフォトコンテストを実施した。その情報をHPに 一元化し、県民への普及啓発を図った。	順調	順調
			生きものフォトコンテスト等、生物多様性の普及									
			教育関係機関との連携、次代を担う児童生徒を対象とした普及啓発									
			生物多様性プラットフォームの構築、本県の生物多様性に関する情報の 一元化									
181		世界自然遺産登録推進事業 (環境部 自然保護課)	遺産地域の適切な保 全・管理手法を検討す る地域部会の開催	地域部会・フォーラム の開催や、希少種保護 の関連策など世界自然 遺産登録に向けた取 組			世界自然遺産登録後 の遺産価値の適切な 維持・管理のための取 組		県	世界自然遺産登録を実現し、登録後の遺産価値の維持と適正利 用の両立を図るため、次の事業に取り組んだ。 ①地域別行動計画の検証、地域参画の推進等②持続的観光マス タープランモデル事業の実施③イリオモテヤマネコの交通事故防止 対策④ノイヌ・ネコ対策⑤普及啓発⑥希少種の密猟防止対策	順調	順調
			世界自然遺産の普及 啓発のためのフォー ラムの開催									

[illegible]

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
【施策展開】			②運輸部門温室効果ガス排出量の削減										
190	★	次世代自動車の普及促進 (環境部 環境再生課)							県 民間	沖縄県地図情報システムを活用し県内充電設備の設置箇所の 情報発信を実施した。 また、県庁の公用車を電気自動車又はプラグインハイブリッド自動 車に転換する電動車転換促進事業を実施し、県施設の充電設備環 境の整備も併せて取り組むことで、県内の次世代自動車導入に寄与 した。	概ね順調	概ね順調	
次世代自動車普及に向けた啓発活動													
次世代自動車へ対応した産業の育成(EV技術蓄積など)													
191	★	エコドライブの普及促進 (環境部 環境再生課)							県	エコドライブの必要性について、地球温暖化防止センター等の関係 機関と連携しながら広報活動等を行った。	概ね順調	大幅遅れ	
エコドライブの実践に向けた普及啓発													
192	★	公共交通利用環境改善事業 (企画部 交通政策課)	64% ノンステップ バス導入率	66%	68%	70%	70%		県 交通事業者	交通弱者を含む全ての利用者の乗降性に優れるノンステップバス について、1台の導入支援を行った。 伊佐以北のバスレーン延長のスケジュール案の作成や、てだこ浦 西駅～沖国大・琉大を結ぶキャンパスバス実証実験を継続実施し た。 自家用車から公共交通への利用転換促進を目的に広報活動を実 施した。	順調	順調	
ノンステップバス導入													
IC乗車券 の船舶・タ クシーへの 拡張利用 に向けた課 題整理		IC乗車券の拡張利用に関する調査・検討・導入 支援 【H30年度 年度別計画改善】											
193	★	交通体系整備推進事業 (企画部 交通政策課)	関係者協 議会の開 催 年2回						国 県 市町村 交通事業者	県内の交通課題について、都市構造上・社会構造上の課題として 整理した上で、その解決策を体系化し具体的な施策として取りまとめ た「TDM施策推進アクションプログラム(案)」を策定した。	順調	順調	
公共交通利用促進のための啓発活動、モビリティマネジメント等													
		基幹バスシステム導入・拡充											
194	★	沖縄都市モノレール延長整備事業 (土木建築部 都市計画・モノレール 課)	79% モノレール 延長整備 事業進捗 率	100%	供用開始				県 市 事業者	てだこ浦西駅付近で道路を供用するとともに、モノレール延長整備に 関連する関連道路、街路の整備を行った。	順調	順調	
・延長区間：那覇市首里汀良町(首里駅)～浦添市 前田 延長距離：4.1km(4駅) ・終着駅と沖縄自動車道とを接続するためICを整備													

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
195	★	沖縄都市モノレール輸送力増強事業 (土木建築部 都市計画・モノレール課)				車両の設計 車両基地の設計	車両の設計 車両製造 車両基地の整備	車両製造 車両基地の整備	県市事業者	製造メーカーが設計を行う分岐器製作及び可動安全柵製作設置工事、並びに3両車両の製造に着手している。また、新車両基地及び引き込み線の詳細設計が完了し、順次、各種工事に着手した。	大幅遅れ	大幅遅れ
196	★	モノレール利用促進対策 (土木建築部 都市計画・モノレール課)	4駅 ローマ字表記から英語等への更新駅数	28基 駅周辺多言語サイン更新数			36基 駅周辺多言語サイン更新数		県事業者	新型コロナウイルス収束後を見据え、国内外の観光客増加に対応するため、内容を更新したガイドブックのデータ作成ほか、ガイドブック及び、ポールサイトを広く周知するためポスターとチラシを作成した。 また、駅周辺の多言語案内サインについては、28基の内容を更新した。	概ね順調	順調
			・駅舎外壁看板更新	・モノレール利用促進環境の整備 (駅周辺多言語サイン更新等)		・モノレール利用促進環境の整備 (駅周辺多言語サイン更新等)						
			・外国人向け観光パンフレット作成、周辺施設との連携等									
197	★	バス利用環境改善事業 (土木建築部 道路管理課)	12基 バス停上屋の整備数						県	県道251号線の宮城入口の上下でバス停上屋を合計2基整備した。	大幅遅れ	やや遅れ
198	★	鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入促進事業 (企画部 交通政策課)	県計画案 (構想段階)策定に向けた取組	計画段階への早期移行、鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワーク構築に向けた取組の推進				国 県市町村	鉄軌道について、新たな沖縄振興のための制度提言を行い、国と協議を行った。 また、PVの作成や経済界向け講演会、学生向けワークショップ等を行った。 さらに、公共交通の充実に向け、北・中部圏域で令和3年11月末にワーキンググループを立ち上げ、課題解決に向け、具体的に協議を行った。	順調	順調	
【施策展開】			③本県の特性に応じた温暖化防止対策の推進									
199	★	美ら島づくり行動計画推進事業(優良個体の選抜、普及等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動件数						県	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する亜熱帯花木等優良個体(フクギ、クメノサクラ等)の普及を行った。また、計画に基づき、都市部などの緑化重点地区への植栽を推進した。	順調	順調
			亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及、緑化重点モデル地区への植栽支援等									

No.	重点 的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
200	★	造林事業 (農林水産部 森林管理課)	44ha 造林等 面積						県 市町村	無立木地への造林や複層林整備を27ha実施し、既存造林地において下刈り475ha、除伐等45haの森林整備を実施した。	概ね順調	概ね順調	
			無立木地への造林や複層林整備の実施										
201	★	全島みどりと花いっぱい運動事業 (環境部 環境再生課)							県 市町村等	『「一島一森」で花と緑の美ら島づくり』をスローガンに全島緑化県民運動の普及啓発及び県土緑化への積極的な参加を推進した。県民主体の継続的な緑化活動を支援するため、各種緑化活動を支援した。	順調	順調	
			行政、団体、企業等による緑化活動の支援										
202	★	市町村緑化推進支援事業 (土木建築部 都市公園課)	15市町村 計画策定 市町村数					21市町村	県	沖縄県広域緑地計画(改定計画)の周知等を行い、市町村へ「緑の基本計画」策定及び更新の取組を促した。	概ね順調	概ね順調	
			「緑の基本計画」策定に対する市町村への技術的指導・支援										
			風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導										
203	★	都市公園における緑化等の推進 (土木建築部 都市公園課)	1,527ha 供用面積					1,594ha (累計)	国、県 市町村	県営公園及び市町村営公園において、環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場所の空間創出に向けて用地取得や園路、広場等の整備を行った。	順調	順調	
			花と緑にあふれた都市公園や緑地の計画的な整備										
204	★	沖縄フラワークリエイション事業 (土木建築部 道路管理課)	70km 道路緑化・ 重点管理 延長					80km (累計)	県	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線(80km)について、緑化(草花等)・重点管理を実施した。	順調	順調	
			観光地アクセス道路の緑化・重点管理										
205	★	主要道路における沿道空間の緑化事業 (土木建築部 道路管理課)	280km 道路緑化・ 育成管理 延長					300km (累計)	県	主要道路(290km)について、沿道空間における除草や道路植栽・街路樹の剪定等を実施した。	順調	順調	
			亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理										
206	★	宮古広域公園整備事業 (土木建築部 都市公園課)							県 宮古島市	公園整備事業を推進するため、用地取得等を進める。	順調	順調	
			基本設計、環境アセス、用地補償、整備										

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
207	★	県民の森管理事業 (農林水産部 森林管理課)							県	森林・林業の役割についての普及啓発の強化を目的に、施設の内装や展示品のリニューアルを行った。 利用者の安全性・利便性確保のため、炊事棟の排水施設及び用具貸出棟の汚水槽の蓋等の修繕を行った。	順調	順調	
			県民の森の施設整備、維持管理、利用促進										
208	★	平和創造の森公園管理事業 (環境部 環境再生課)							県	多くの人々が緑に親しみ自然とふれあえる憩いの場、県民の健康増進及び自然学習の場として、利用者が潤いと安らぎを体感できる緑地空間の形成を図るため、平和創造の森公園内の緑化等の施設整備及び維持管理を行っている。	概ね順調	順調	
			平和創造の森公園の施設整備、維持管理、利用促進										
209	★	地球温暖化対策事業 (環境部 環境再生課)	1回 協議会開催数						県	協議会を開催し、第2次沖縄県地球温暖化対策実行計画の進捗管理を行った。 地球温暖化防止月間は環境月間と合わせて6月に実施し、ラジオや新聞等の広報媒体を通して、普及啓発を行った。 推進員を活用した普及啓発を実施し、気候変動対策学習教材(DVD教材)を作成し県内小学校に配布した。	大幅遅れ	順調	
			2回 パネル展開催数										
			地球温暖化防止対策の普及啓発										
			地球温暖化による影響に関する情報の収集及び共有化										
			各種関係者による協議会の開催										
210	★	沖縄県における地球温暖化の影響・適応策検討事業 (環境部 環境再生課)	2回 適応策検討会開催数						県	「気候変動適応策推進委託事業」において「気候変動対策学習教材(DVD教材)」を作成し、県内小学校へ配布した。 また、国が主催する「気候情報連絡会」「気候変動適応広域協議会」「生態系分科会」へ出席した。(各2回、計6回) 加えて、沖縄県気候変動適応計画に基づく適応策の進捗管理を行った。	順調	順調	
			地球温暖化にかかる適応策の検討										
【施策展開】			④クリーンエネルギーの推進										
211	★	沖縄県エネルギービジョンアクションプラン推進事業 (商工労働部 産業政策課)	国の基本計画改定等の動向把握	ビジョン及びアクションプラン改定等の見直し及び新ビジョン策定		アクションプラン推進及び定期的な改定			県	県のエネルギー計画である「沖縄県クリーンエネルギー・イニシアティブ」を改定し、より高い目標設定やアクションプランの取組強化を行った。	順調	順調	
212	★	小規模離島再エネ最大導入事業(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業) (商工労働部 産業政策課)	機器設置	実証開始					県 電気事業者	再生可能エネルギー(再エネ)によりモーターを駆動して発電する実証機器(MGセット)と風力発電、既存ディーゼル発電機(DG)を組み合わせた運転、また、一定条件のもと、DGを全て停止し、再エネとMGセットによる再エネ100%運転の長時間安定運用の可能性を検証した。	順調	順調	
			モーター発電機を用いた再エネ導入拡大に資する実証										

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	＜参考＞ R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
213	★	安定した再生可能エネルギーの普及展開に資する取組(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業: 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業) (商工労働部 産業政策課)	海洋エネルギーワークショップ (沖縄ハワイ交互開催)			協力覚書の更新	クリーンエネルギーワークショップの開催等による技術交流の促進		県 久米島町 ハワイ郡	沖縄県とハワイ州が2021年(令和3年)5月に締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、両地域の再生可能エネルギー等クリーンエネルギーの普及拡大に向け、ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	やや遅れ
214	★	再生可能エネルギーの導入拡大に向けた課題解決に資する取組(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業: 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業) (商工労働部 産業政策課)	ハワイ電力系統調査等				クリーンエネルギーワークショップの開催等による技術交流の促進		県 ハワイ州 電気事業者 関係団体	沖縄県とハワイ州が2021年(令和3年)5月に締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、両地域の再生可能エネルギー等クリーンエネルギーの普及拡大に向け、ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	順調
215	★	海洋温度差発電実証事業(未利用資源・エネルギー活用促進事業) (商工労働部 産業政策課)	100kW相当 海洋温度 差発電量						県 町 事業者等	海洋温度差発電実証試験設備の利活用を希望する者の公募を行うとともに、当該設備の利活用に向けて民間事業者、研究機関及び久米島町と意見交換を行った。	順調	順調
216	★	天然ガス資源試掘調査事業(未利用資源エネルギー活用促進事業) (商工労働部 産業政策課)	市、民間事業者による 利活用検討			利活用の促進			県 町 事業者等	那覇市、南城市の試掘井については、利活用に向けて、関係市及び民間事業者と意見交換等を行った。 また、両市の試掘井の民間利活用に向けて、鉱業法に基づく採掘権設定の申請を国へ行った。	順調	順調
217	★	水素社会に向けた技術等の情報収集(クリーンエネルギーアイランド推進事業) (商工労働部 産業政策課)	国(水素・燃料電池戦略ロードマップ等)及び県内外の動向にかかる情報収集、並びに沖縄県における水素の利活用にかかる調査等						県 国	国や関係団体が主催する脱炭素に関する会議等に出席して情報収集を行った。	順調	順調
218	★	宮古島市スマートコミュニティ実証事業(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業) (商工労働部 産業政策課)	他離島への展開等の検討						県 市 事業者	再エネの主力電源化やレジリエンスの向上が期待できる地域MGとの連携を視野に、県内全域の公共施設を対象としたEMS制御による再エネの導入可能性及び経済性の効果等の調査を行った。	順調	順調

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況		
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)						
219	★	省エネルギーに資する取組(スマートエネルギーアイランド基盤構築事業: 沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業) (商工労働部 産業政策課)	ハワイとの省エネに関する意見交換実施						国 県 ハワイ州 米国	沖縄県とハワイ州が2021年(令和3年)5月②締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、料理域の再生可能エネルギー等ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	順調		
			省エネルギーソリューション			協力覚書の更新		クリーンエネルギーワークショップの開催等による技術交流の促進						
220	★	地中熱エネルギー等を活用した省エネ技術の開発・普及事業 (環境部 環境再生課)	1件 実証試験数						県	本事業の報告書をウェブサイトで公開することで、地中熱エネルギーの有効性や利用可能性等についての周知を図った。	順調	順調		
			地中熱利用の実証試験地中熱等熱エネルギー利用の普及推進											
221	★	沖縄・ハワイクリーンエネルギー協力推進事業 (商工労働部 産業政策課)	タスクフォースミーティング(1回/年)							県 国 ハワイ州 関係団体	沖縄県とハワイ州が2021年(令和3年)5月に締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、両地域の再生可能エネルギー等クリーンエネルギーの普及拡大に向け、ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	順調	
			系統安定化ソリューション			新たなワーキングプラン策定及び協力覚書の更新協議/覚書更新	次期協力覚書5年間の開始							
			クリーン輸送ソリューション											
			再生可能エネルギーソリューション											
			省エネルギーソリューション											
			人材交流ワーキンググループ											
			※米国エネルギー省、ハワイ州、経済産業省、沖縄県の四者で協力覚書を締結し、ワークプランに基づき5つの優先課題を設定して、クリーンエネルギー社会の形成に向けた取組を推進する。											
【施策展開】			⑤低炭素都市づくり											
222	★	住民参加型都市計画マスタープラン(MP)策定事業 (土木建築部 都市計画・モノレール課)	1回 県・市町村調整会議開催数						県 市町村	4市町と都市計画マスタープラン改定に向けた調整を行った。	順調	順調		
			21市町村における住民参加型MP策定の実施											
223	★	那覇空港自動車道の整備 (土木建築部 道路街路課)	小祿道路の整備							国	国直轄で、小祿道路の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要望を2回(5月、11月)行った。	順調	順調	

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画					実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
224	★	沖縄西海岸道路の整備 (土木建築部 道路街路課)	浦添北道路 暫定供用						国	国直轄で、北谷拡幅や読谷道路等の整備を行った。県は国に対し、当該事業の促進を図るため、早期整備等の要望を2回(5月、11月)行った。	順調	順調
			読谷道路、北谷拡幅、浦添北道路、那覇北道路等の整備									
225	★	ハシゴ道路等ネットワークの構築 (土木建築部 道路街路課)			浦添西原線(嘉手苅 ～小那覇) 供用				県	南部東道路(橋梁工事等)、浦添西原線(用地補償等)、豊見城中央線(用地補償等)等の整備を行った。	順調	順調
			浦添西原線、宜野湾北中城線、県道24号線BP、南部東道路、上之屋道路等の整備									
226	★	渋滞ボトルネック対策 (土木建築部 道路街路課)	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所	5箇所		県	小禄や新川等、5箇所において交差点改良を行った。	順調	順調
			牧港、鳥堀、沖縄南IC、渡口等、主要渋滞箇所の交差点改良									
227	★	自転車利用環境の整備 (土木建築部 道路管理課)	実施設計	0.3km 自転車通行空間 整備延長				→	県	名護本部線等の県管理道路で自転車通行空間を0.23km整備した。 併せて、自転車活用推進のポスターを市町村に配布することで、普及啓発を図った。	概ね順調	順調
			自転車活用推進調査・計画策定・普及啓発活動・ハード整備									
228	★	沖縄都市モノレール延長整備事業 (土木建築部 都市計画・モノレール課)	79% モノレール 延長整備 事業進捗率	100%	供用開始				県市 事業者	てだこ浦西駅付近で道路を供用するとともに、モノレール延長整備に関連する関連道路、街路の整備を行った。	順調	順調
			・延長区間:那覇市首里汀良町(首里駅)～浦添市前田 延長距離:4.1km(4駅) ・終着駅と沖縄自動車道とを接続するためICを整備									
229	★	鉄軌道を含む新たな公共交通システムの導入促進事業 (企画部 交通政策課)	県計画案(構想段階)策定に向けた取組	計画段階への早期移行、鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワーク構築に向けた取組の推進					国県市町村	鉄軌道について、新たな沖縄振興のための制度提言を行い、国と協議を行った。また、PVの作成や経済界向け講演会、学生向けワークショップ等を行った。 さらに、公共交通の充実に向け、北・中部圏域で令和3年11月末にワーキンググループを立ち上げ、課題解決に向け、具体的に協議を行った。	順調	順調

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
230	★	公共交通利用環境改善事業 (企画部 交通政策課)	64% ノンステップ バス導入率	66%	68%	70%	70%		県 交通事業者	交通弱者を含む全ての利用者の乗降性に優れるノンステップバスについて、1台の導入支援を行った。 伊佐以北のバスレーン延長のスケジュール案の作成や、てだこ浦西駅～沖国大・琉大を結ぶキャンパスバス実証実験を継続実施した。 自家用車から公共交通への利用転換促進を目的に広報活動を実施した。	順調	順調
			ノンステップバス導入									
			IC乗車券の船舶・タクシーへの拡張利用に向けた課題整理	IC乗車券の拡張利用に関する調査・検討・導入支援 【H30年度 年度別計画改善】								
231	★	交通体系整備推進事業 (企画部 交通政策課)	関係者協議会の開催 年2回						国 県 市町村 交通事業者	県内の交通課題について、都市構造上・社会構造上の課題として整理した上で、その解決策を体系化し具体的な施策として取りまとめた「TDM施策推進アクションプログラム(案)」を策定した。	順調	順調
			公共交通利用促進のための啓発活動、モビリティマネジメント等									
						基幹バスシステム導入・拡充						
232	★	モノレール利用促進対策 (土木建築部 都市計画・モノレール課)	4駅 ローマ字表記から英語等への更新 駅数	28基 駅周辺多言語サイン更新数			36基 駅周辺多言語サイン更新数		県 事業者	新型コロナウイルス収束後を見据え、国内外の観光客増加に対応するため、内容を更新したガイドブックのデータ作成ほか、ガイドブック及び、ポールサイトを広く周知するためポスターとチラシを作成した。 また、駅周辺の多言語案内サインについては、28基の内容を更新した。	順調	順調
			1駅舎外壁看板更新	・モノレール利用促進環境の整備 (駅周辺多言語サイン更新等)			・モノレール利用促進環境の整備 (駅周辺多言語サイン更新等)					
			・外国人向け観光パンフレット作成、周辺施設との連携等									
233	★	沖縄都市モノレール輸送力増強事業 (土木建築部 都市計画・モノレール課)				車両の設計 車両基地の設計	車両の設計 車両製造 車両基地の整備	車両製造 車両基地の整備	県 市 事業者	製造メーカーが設計を行う分岐器製作及び可動安全柵製作設置工事、並びに3両車両の製造に着手している。また、新車両基地及び引き込み線の詳細設計が完了し、順次、各種工事に着手した。	大幅遅れ	大幅遅れ
			・モノレール車両を2両編成から3両編成へ増備									

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	＜参考＞ R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
234	★	バス利用環境改善事業 (土木建築部 道路管理課)	12基 バス停上 屋の整備 数						県	県道251号線の宮城入口の上下でバス停上屋を合計2基整備した。	大幅遅れ	やや遅れ	
			バス停上屋の整備										
235	★	宮古島市スマートコミュニティ実証 事業(スマートエネルギーアイランド基 盤構築事業) (商工労働部 産業政策課)	他離島へ の展開等 の検討						県市 事業者	再エネの主力電源化やレジリエンスの向上が期待できる地域MG との連携を視野に、県内全域の公共施設を対象としたEMS制御に よる再エネの導入可能性及び経済性の効果等の調査を行った。	順調	順調	
			宮古島でIT 機器等 を活用しエ ネルギー消 費の効率 化を実証 (ヒートポン プ16台等 を制御)										
236	★	蒸暑地域住宅の普及啓発・研究促進 (土木建築部 住宅課)	1回 シンポジウ ムの開催					中止	県 関係団体	建築関係技術者向けの講習会にて、環境共生住宅に係る講演を 行い、事業説明及び事例紹介等を行った。R3年度は、新型コロナウ イルス感染症拡大の影響による業務縮小のため、委託業務が中止 となったため未着手とした。	未着手	順調	
			環境共生住宅の普及啓発・研究促進										
237	★	県有施設におけるCASBEE(建築環境 総合性能評価システム)の実施 (土木建築部 施設建築課)	3施設 評価施設 数						県	県有建築物の設計を行う際に、CASBEE(建築環境総合性能評価 システム)における性能評価を3施設において実施した。(過去5年 評価施設数:16施設)	順調	大幅遅れ	
			県有施設の環境性能向上と省エネ化の推進										
238	★	下水汚泥有効利用 (土木建築部 下水道課)	100% 有効利用 率						県 市町村	汚泥等を有効利用するために、那覇浄化センター及び名護市等に おいて、汚泥処理施設の改築等を行った。また、各下水道施設から 発生する下水汚泥145トン/日(R2実績・県全体)全量をコンポスト (堆肥)化し肥料として緑農地還元により有効利用を推進した。	順調	順調	
			下水の処理過程で発生する汚泥を肥料として緑農地還元等										

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画					実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)			
239	★	消化ガス有効利用 (土木建築部 下水道課)	69% 有効利用率					75%	県 市町村	順調	順調
			下水の処理過程で発生する消化ガスを燃料として発電等								
240	★	美ら島づくり行動計画推進事業(優良 個体の選抜、普及等) (環境部 環境再生課)	10件 緑化活動 件数						県	順調	順調
			亜熱帯花木等優良個体の選抜・普及、緑化重点モデル地区への植栽支援等								
241	★	全島みどりと花いっぱい運動事業 (環境部 環境再生課)							県 市町村等	順調	順調
			行政、団体、企業等による緑化活動の支援								
242	★	市町村緑化推進支援事業 (土木建築部 都市公園課)	15市町村 計画策定 市町村数					21市町村	県	概ね順調	概ね順調
			「緑の基本計画」策定に対する市町村への技術的指導・支援								
			風致地区指定の促進に向けた市町村への技術的指導								
243	★	都市公園における緑化等の推進 (土木建築部 都市公園課)	1,527ha 供用面積					1,594ha (累計)	国 県 市町村	順調	順調
			花と緑にあふれた都市公園や緑地の計画的な整備								
244	★	沖縄フラワークリエイション事業 (土木建築部 道路管理課)	70km 道路緑化・ 重点管理 延長					80km (累計)	県	順調	順調
			観光地アクセス道路の緑化・重点管理								

No.	重点的取組	主な取組	年度別計画					実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)					R4 (2022)
245	★	主要道路における沿道空間の緑化事業 (土木建築部 道路管理課)	280km 道路緑化・育成管理 延長				→ 300km (累計)	県	主要道路(290km)について、沿道空間における除草や道路植栽・街路樹の剪定等を実施した。	順調	順調	
亜熱帯性気候を活かした道路植栽・街路樹の育成管理												
246	★	宮古広域公園整備事業 (土木建築部 都市公園課)						県 宮古島市	公園整備事業を推進するため、用地取得等を進める。	順調	順調	
基本計画、環境アセス、用地補償、整備												
【基本施策】			3-4-2	その他の地球環境問題への取組の推進								
【施策展開】			①フロンの全量回収をめざした取組の推進									
247		オゾン層保護対策事業費 (環境部 環境保全課)	90件 立入検査等 事業所数					→	県	フロン類充填回収登録業者等への立入(登録業者立入件数84件)や、関係機関との合同パトロールを実施する。	概ね順調	概ね順調
フロン充填・回収業者等に対する監視、指導の実施												
【施策展開】			②酸性雨対策の推進									
248		酸性雨調査の実施 (環境部 環境保全課)	50件 調査試料数					→	県	降水中のpH測定及びイオン分析を実施する。	順調	順調
酸性雨調査(降水のpH測定、イオン分析)の実施												

【基本目標】			3-5	環境と経済が調和する社会づくり								
【基本施策】			3-5-1	理念の普及・推進体制の構築								
【施策展開】			①理念の普及・推進体制の構築の推進									
No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
249	★	環境保全啓発事業 (環境部 環境再生課)							県	○新型コロナウイルスの感染拡大を受け、環境フェアの開催は中止とした。 ○環境月間(6月)においては、マスコミやHPを通じた広報等により啓発活動を実施した。	概ね順調	概ね順調
環境月間や環境フェア等を通した普及・啓発												
【基本施策】			3-5-2									
【施策展開】			①環境マネジメントシステムの普及拡大									
250	★	環境マネジメントシステム(ISO14001、エコアクション21)の普及促進 (環境部 環境再生課)							県	新型コロナウイルス拡大に伴い、環境フェアや環境月間等のイベントで普及啓発を実施する予定であったが、全て中止とした。	大幅遅れ	やや遅れ
環境マネジメントシステムの認証取得支援												
【施策展開】			②CSR(企業の社会的責任活動)の普及									
251	★	CSR(企業の社会的責任活動)の普及 (環境部 環境再生課)							県	○環境月間においてマスコミやHPを通じた広報等により、企業等に向けて普及啓発を実施した。 ○一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、県民環境フェアを中止した。	順調	順調
環境月間や環境フェア等を通した普及・啓発												
【施策展開】			③環境保全のための費用負担意識の普及									
252	★	産業廃棄物税 (環境部 環境整備課)							県	産業廃棄物税を活用し、産業廃棄物発生抑制・リサイクル等推進事業、廃棄物不法投棄対策事業、公共関与事業推進費などの産業廃棄物の発生抑制や適正処理を促進する施策へ58,869,875円を充当した。	順調	順調
産業廃棄物税を活用し、循環型社会の形成に向けた産業廃棄物の発生抑制、再使用、再利用及び適正処理を促進するため、関連施策を実施する												

No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
【基本施策】			3-5-3	環境に配慮した産業の創出・育成									
【施策展開】			①省エネルギー機器等の普及促進										
253	★	宮古島市スマートコミュニティ実証事業（スマートエネルギーアイランド基盤構築事業） （商工労働部 産業政策課）	他離島への展開等の検討 宮古島でIT機器等を活用しエネルギー消費の効率化を実証（ヒートポンプ16台等を制御）						県市事業者	再エネの主力電源化やレジリエンスの向上が期待できる地域MGとの連携を視野に、県内全域の公共施設を対象としたEMS制御による再エネの導入可能性及び経済性の効果等の調査を行った。	順調	順調	
254	★	省エネルギーに資する取組（スマートエネルギーアイランド基盤構築事業：沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業） （商工労働部 産業政策課）	ハワイとの省エネに関する意見交換実施 省エネルギーソリューション				クリーンエネルギーワークショップの開催等による技術交流の促進	国県 ハワイ州 米国	沖縄県とハワイ州が2021年（令和3年）5月②締結したクリーンエネルギーに関する協力覚書に基づき、料理域の再生可能エネルギー等ワークショップやタスクフォースミーティングなどの取組を通じて意見交換や技術交流を推進した。	順調	順調		
255	★	地中熱エネルギー等を活用した省エネ技術の開発・普及事業 （環境部 環境再生課）	1件 実証試験数 地中熱利用の実証試験					県	本事業の報告書をウェブサイトで公開することで、地中熱エネルギーの有効性や利用可能性等についての周知を図った。	順調	順調		
【施策展開】			②リサイクルビジネスの展開促進										
256	★	建設リサイクル資材認定制度（ゆいくる）活用事業 （土木建築部 技術建設課）	567資材 ゆいくる材 認定資材数 （累計） ゆいくる材の利用促進					維持又は増加	県	建設リサイクル資材製造業者からの申請はなく、新たな資材の認定はなかったが、評価基準見直しのため評価委員会を開催し、評価基準の改定を行った。その他558資材の工場等での品質確認を行い、行政関係者対象の研修を行うなど、同制度の普及を図った。	概ね順調	大幅遅れ	
257	★	産業廃棄物発生抑制・リサイクル等推進事業 （環境部 環境整備課）	県内の事業者等が実施する産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等に資する施設整備や研究開発を支援					県	令和3年度の補助事業として1事業を採択（施設整備事業1件）し、総額10,000,000円の補助金を交付した。	順調	順調		

【基本目標】			3-6	環境保全のための共通的・基盤的施策								
【基本施策】			3-6-1	環境保全のための共通的・基盤的施策								
【施策展開】			①共通的・基盤的施策の総合的な実施による計画の推進									
No.	重点的取組	主な取組	年度別計画						実施主体	活動概要	進捗状況	<参考> R2 進捗状況
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)				
258		小規模事業における環境配慮ガイドラインの策定 (環境部 環境政策課)							県	改正した条例及び規則を運用するとともに、県ホームページで「環境への配慮指針」の周知を行い、小規模事業における環境配慮の推進を図った。併せて、法及び条例の対象とならない規模の太陽光発電事業を対象として環境省が公表した「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」についても周知を図った。	順調	順調
			ガイドラインの策定	対象事業の種類の追加及び規模要件を小規模化した改正条例及び規則の施行・運用								
				環境への配慮指針の普及								
259		環境関連計画の策定・推進・見直し (環境部 環境政策課)							県	第2次環境基本計画で取り組む施策についてPDCAサイクルによる進捗管理を行い、環境基本計画推進会議において令和2年度の実績報告を行った。報告後は進捗状況を公表し、県民意見募集を実施した。 また、令和5年度から開始する第3次計画について、本年度から策定作業を進め、年度内に素案を作成した。	順調	順調
			計画の策定・推進・見直し									
260		環境影響評価審査調整事業 (環境部 環境政策課)							県	令和3年度は環境影響評価図書及び事後調査報告書計27件について、審査指導を行った。	順調	順調
			環境影響評価に係る審査指導									

【基本目標】			3-7	基地公害の防止のための施策									
【基本施策】			3-7-1	基地関連公害の防止									
【施策展開】			①基地関連公害の防止										
No.	重点的 取組	主な取組	年度別計画						実施 主体	活動概要	進捗 状況	<参考> R2 進捗 状況	
			H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)					
261	★	基地排水水質等監視調査費(委託事業) (環境部 環境保全課)	4施設・区域 10地点							県	米軍施設・区域からの排水や基地内公共用水域等の水質調査を実施した。基地内調査については、日米間の合意が必要であり、合意が得られない場合は、調査内容に変更が生じる可能性がある。	順調	順調
			在日米軍施設・区域環境調査の実施										
262	★	基地排水水質等監視調査費 (環境部 環境保全課)	7施設・区域 19地点 2海域							県	米軍基地7施設・区域周辺の公共用水域や地下水、底質について、19地点(29回)で調査した。基地周辺1海域(1回)にて魚類に含まれる化学物質を調査した。	順調	順調
			基地周辺の公共用水域の水質等の調査・監視										
263	★	原子力艦寄港に伴う放射能調査の実施 (環境部 環境保全課)								県	原子力艦寄港に伴う放射能レベルの監視調査及び環境試料中の放射能レベル調査を実施する。	順調	順調
			放射能レベルの監視調査及び環境試料中の放射能レベル調査										
264	★	米軍基地航空機騒音の監視調査 (環境部 環境保全課)	36測定局 騒音の固定測定局数							県	嘉手納・普天間飛行場周辺における航空機騒音を関係市町村と連携して37固定測定局(県15局、市町村22局)において測定した。	順調	順調
			嘉手納・普天間飛行場周辺における航空機騒音の実態の把握										

[illegible]